

■ 衝突軽減ブレーキ (CMBS)

- 衝突軽減ブレーキ (CMBS) は、自車が前方の車両のほぼ真後ろから追突するおそれがあるときや、対向車に正面から衝突するおそれがあるとき、歩行者および人が乗車し移動している自転車(移動する自転車)に衝突するおそれがあるときに、運転者のブレーキ操作を支援し、衝突回避を支援したり衝突被害の軽減を支援したりするシステムです。
- 自車が約5km/h以上で走行中に、自車との速度差が約5km/h以上ある車両、歩行者および移動する自転車に対して衝突のおそれがある時に、CMBSが作動します。
- CMBSが作動し、停車した後または衝突のおそれなくなったと判断した後にCMBSは解除されます
- 衝突軽減ブレーキ (CMBS) は、あらゆる状況で衝突を回避できるシステムではありません。レーダーやカメラは天候や速度、路面状況によって検知しにくいことがあります。
- 取扱説明書に従い使用しないと、衝突などの事故につながり、死亡または重大な障害にいたるおそれがあります。
- 周囲の状況を確認し、十分な車間距離を保ち安全運転を行ってください。
- ご使用の前に、必ずご使用になる機種の手取扱説明書をお読みください。取扱説明書は、Hondaホームページにて、閲覧可能です。

■ 路外逸脱抑制機能

路外逸脱抑制機能は路外逸脱抑制機能がONされている時にフロントガラス上部に設置されたカメラによって左右の白線または黄色線を検知し、方向指示器（ウィンカー）を使用せずに白線（黄色線）を逸脱、もしくは逸脱しそうになったことを判断したとき、作動します。

システムはステアリングを制御して車両が車線逸脱しないように支援するとともに、マルチインフォメーションディスプレイによる警報、ステアリング振動もしくはブザー音により運転者の回避操作を促します。

- ・本システムは車速が約60km/hから直線または緩やかなカーブの道路を走行しているときに作動します。
 - ・道路状況、車両状態及び天候状態等によってはシステムが作動しない場合があります。
 - ・運転者が加速やブレーキ操作、急なステアリング操作を行っている場合は作動しません。
 - ・カスタマイズ機能で路外逸脱抑制システム設定を「操舵アシストなし 警報のみ」に設定した場合は警報機能のみ作動し、ステアリングの制御は作動しません。
 - ・機能の能力には限界がありますので、過信せず、常に周囲の状況に気を付け安全運転をお願いします。
- ・ご使用前に、必ずご使用になる機種のご取扱説明書をお読みください。
ご取扱説明書は、Hondaホームページにて、閲覧可能です。

■ リアワイドカメラ

- ・後退時は、必ず目視やミラーなどで後方および周囲の安全を直接確認してください。
- ・リアワイドカメラシステムのカメ​​ラは特殊なレンズを使用しているため、画面に表示される映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- ・リアワイドカメラのレンズは常にきれいにし、ふさがれることがないようにしてください。
- ・ご使用の前に、必ずご使用になる機種​​の取扱説明書をお読みください。
取扱い説明書は、Hondaホームページにて、閲覧可能です。

■ペダル踏み間違い時加速抑制装置 (誤発進抑制機能/後方誤発進抑制機能)

- 誤発進抑制機能/後方誤発進抑制機能は、停車時や約10km/h以下で走行しているとき、自車のほぼ真正面/ほぼ真後ろの近距離に車両などの障害物があるにもかかわらず、アクセルペダルを踏み込んだ場合に、エンジン出力を抑制し、急な発進を防止するとともに、音と表示で接近を知らせます。
- 誤発進抑制機能は、アクセルペダルの踏み込み量が少ないときやCMBSをOFFにしているときは作動しません。
- 後方誤発進抑制機能は、アクセルペダルの踏み込み量が少ないときや後方誤発進抑制機能をOFFにしているときは作動しません。
- 誤発進抑制機能/後方誤発進抑制機能の作動後、アクセルペダルを離したときやアクセルペダルを約4秒間踏み続けたときは作動解除します。
- 誤発進抑制機能/後方誤発進抑制機能は、あらゆる状況でアクセルペダルの踏み間違いや踏みすぎによる衝突を軽減したり防止できるものではありません。天候や速度、路面状況によって障害物を検知しにくいことがあります。
- 運転者がセレクトレバーやペダルの位置および周囲の状況を確認し、安全運転を心がけ走行してください。
- ご使用の前に、必ずご使用になる機種 of 取扱説明書をお読みください。
取扱い説明書は、Hondaホームページにて、閲覧可能です。

■ オートハイビーム

- ・オートハイビームは夜間走行時に前方の状況によってヘッドライトのハイビームとロービームを自動的に切り換えるシステムです。
- ・作動できる条件は、自車が30km/h以上で走行し、ライトスイッチが'AUTO'、レバーがロービームの位置で、システムが夜間だと判定した時、周囲の状況に応じて作動します。カメラの認識できる範囲や距離は周囲の状況（環境）によって変わります。
- ・システムの作動が一時的に解除される場合があります。自車が24km/h未満でしばらく走行した時。自車が10km/h未満になった時。フロントワイパーはHI（高速）で数秒間動作した時。明るい場所で走行した時。一時的に解除された時はオートハイビームの作動表示灯が消灯します。
- ・オートハイビームは前方の発光する物体の明るさに応じてヘッドライトの切り換えを行います。前方の状況（環境）により、タイミングが変化したり、適切に切り換えが行われない場合があります。あらゆる状況で作動する機能ではありません。常に周囲の状況を確認し、必要に応じて手動でハイビームとロービームを切り換えてください。
- ・オートハイビームの機能を作動させたい時、停止させたい時、作動を復帰させたい時の操作方法については取扱説明書に記載があります。ご使用前に必ずお読みください。
- ・マルチインフォメーションに警告表示が出た場合、機能の動作が停止します。その際はHonda販売店にて点検修理を受けてください。
- ・ご使用前に、必ずご使用になる機種のお取扱説明書をお読みください。取扱い説明書は、Hondaホームページにて、閲覧可能です。